

全国企業倒産集計 2022 年度 10 月報 別紙号外レポート

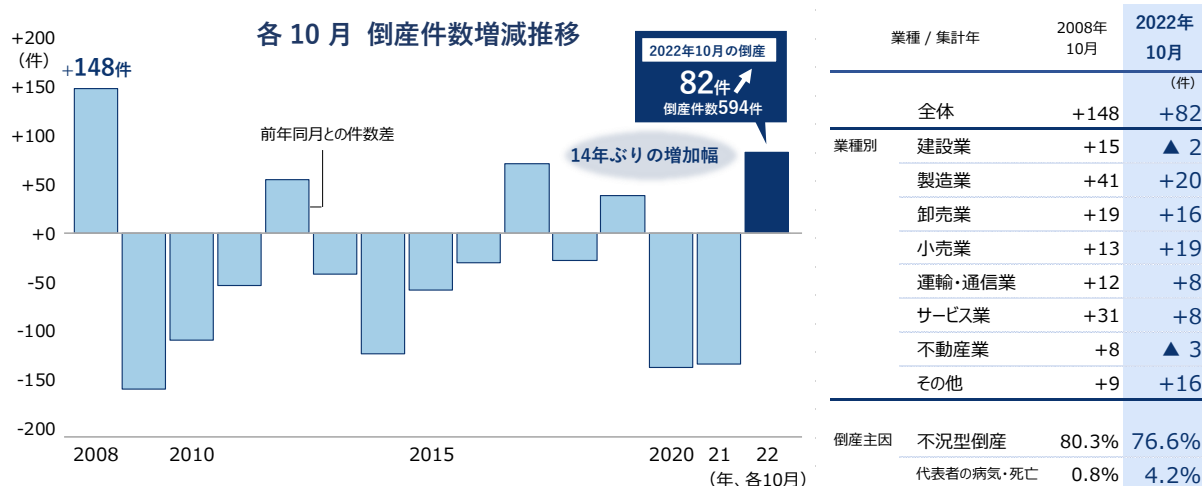
10 月の倒産、前年から 82 件増 ～ 10 月としては「リーマン直後」以来の増加、 倒産要因は不況型から後継者難へ ～

コロナ禍後、初の倒産増勢局面を迎えている。2022 年 10 月の倒産件数は前年同月の 512 件を上回る 594 件発生し、コロナ禍以降では最長となる 6 カ月連続での増加となった。600～700 件台で推移していたコロナ前の水準に比べれば依然として少ないものの、コロナ関連融資をはじめ各種の支援によって減少が続いた企業倒産は、一転して増加基調が鮮明となっている。

特に、倒産件数の増加幅では前年同月から 82 件の増加となった。過去 10 年（120 カ月）では 8 番目の多さ、10 月単月の増加幅としてはリーマン・ショック直後の 2008 年 10 月（前年同月+148 件）以来、14 年ぶりの高水準となった。

2008 年 10 月は大手ゼネコンやマンション開発など建設・不動産業界の倒産が急増。「製造業」（+41 件）も急激な内外需の縮小と円高進行で急増した。一方、2022 年 10 月は減少した前年の反動増の側面がある一方、「物価高」「円安」「人手不足」のトリプルパンチで、特に原材料の大幅な値上がりが続く食品関係の業種が増加した。

倒産要因にも変化がみられる。2008 年 10 月は販売不振など「不況型倒産」が 80.3%を占めた。一方、2020 年 10 月は 76.6%と低く、代わって「代表者の病気・死亡」（4.2%、2008 年 10 月：0.8%）の割合が高かった。倒産要因が経営者の後継者問題に移っている点も特徴的だ。



株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介、辻尾 智宏、大友 隆靖

03-5919-9343 (直通) 情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。